

第25回合宿研究会 in 京都

いのちと暮らしを支える福祉労働

2021年1月9日（土）13時～16時

会場：京都教育文化センター（会場定員30名）+ZOOM

参加費：会場、ZOOMともに **2,000円** 《申込締切日：1月5日》

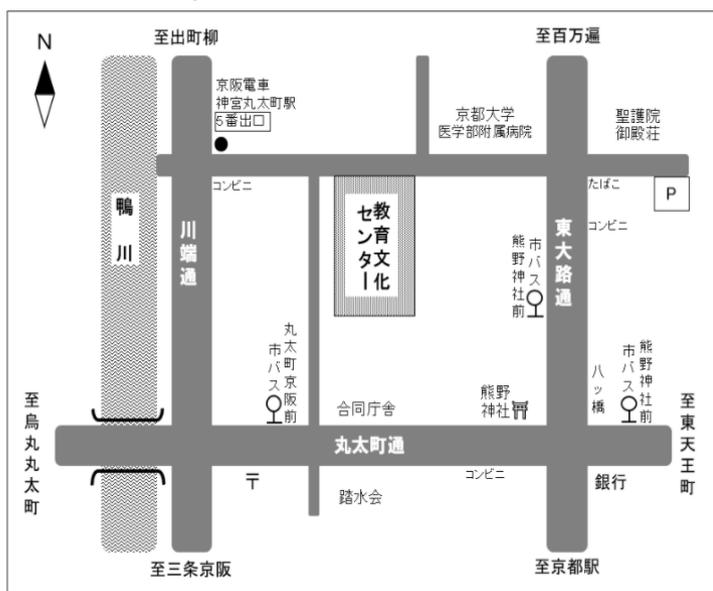
※ 会場参加は先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。（当日参加不可）
参加費は前納とさせていただきますので、申込みの際に、最寄りの郵便局から下記口座にお振込みください。
誠に恐縮ですが、振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

口座番号：00990-0-62868 加入者名：総合社会福祉研究所

ともに学び合いましょう！

新型コロナウイルス感染拡大によって、暮らし・健康をまもるインフラとして、また、経済社会を支えるインフラとしての社会福祉がもつ社会的役割が明らかとなりました。コロナ禍での実践での苦悩や直面する問題の背景には、社会福祉労働のあり方や”新自由主義”の弊害が存在しています。

今回の合宿研究会では、報告者からコロナ禍での実践を報告してもらい、「福祉労働でこんなことが問題になった」「大変だった」で終わらず、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた理論的課題・実践的課題の導出を模索します。



京阪電車「神宮丸太町駅」5番出口より東へ徒歩3分

タイムテーブル

開会あいさつと問題提起

13:00~13:15

石倉 康次

(総合社会福祉研究所理事長)

① 障害者生活支援施設でのコロナ集団感染の経験

13:15~13:40

園部 泰由

(社会福祉法人みぬま福祉会太陽の里)

② 保育現場でのコロナ禍の状況

13:40~14:05

小堀 智恵子

(社会福祉法人熱田福祉会)

③ 地域でのコロナ禍の状況

14:05~14:30

安田 光良

(地域包括支援センター)

④ 社協からみるコロナ禍と支援の現状

14:30~14:55

黒川 奈緒

(京都市社会福祉協議会)

14:55~15:10 休憩 ——

15:10~15:30 《質疑・討論》 ——

【現場からの報告を受けて】

コロナ禍における社会福祉労働

15:30~15:55

石倉 康次

(総合社会福祉研究所理事長)

閉会のあいさつ **丹波 史紀**(立命館大学)

主催

総合社会福祉研究所

E-mail: mail@sosyaken.jp

ホームページ: http://www.sosyaken.jp/

〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町8-12 国労南近畿会館3F